

3 月 11 日 : VN 指数は 2 年半ぶりの安値へ下落

VN 指数は 3.12% 安の 811.35 ポイントで取引を終え、2017 年 10 月 10 日以来の安値を付けた。

296 銘柄が値下がりし、77 銘柄が上昇した。VN 指数ベースでは 42 銘柄がストップ安となった。

相対取引は活発、先月の平均の 2.77 兆ドンよりも多い、4.11 兆ドンが取引された。

VN30 指数では 3.97% 下落した。28 銘柄が下落し 2 銘柄のみが変わらずで取引を終えた。

10 銘柄がストップ安、そのうち 4 銘柄が銀行株で、その他はそれぞれ異なるセクターだった。

BIDV 銀行 (BID)、ベトジェット航空 (VJC) などはストップ安の 7% 安となった。

VP バンク (VPB)、テクコムバンク (TCB)、サコムバンク (STB) はそれぞれ 6.9%、6.8%、6.6% 安となった。

コテコンズ建設 (CTD) とペトロベトナムガス (GAS) は 6.9% 安、SSI 証券 (SSI) は 6.8% 安となった。

小売りセクターでは、モバイルワールドインベストメント (MWG)、フーニョアンジュエリー (PNJ) は 6.9% 安となった。

その他大きく下落したのはペトロリメックス (PLX) (6.6% 安)、ペトロベトナムパワー (POW) (5.1% 安)、FLC ファロス建設 (ROS) (6.6% 安)、バオベトホールディングス (BVH) (6.4% 安) などであった。

1% 弱の下落に留まったのは 3 銘柄。そのうち一つはビンググループ (VIC) で 0.7% 安であった。

コロナウイルスによるパニックとなるまで、VIC は VN30 指数の中でも最も安定していた株で、0.3% 以上の変動となることがめったになかった。

エクシムバンク（EIB）とビナミルク（VNM）がそれぞれ 0.9%安と 0.1%安でそれに続いた。

ノバランド（NVL）、ビンホームズ（VHM）という 2 つの不動産デベロッパーは変わらずで取引を終えた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.64%安となった。UPCoM 指数も 1.74%安となった。

外国人投資家は依然として売り越し。2810 億ドンを売り越した。VJC、HPG などを中心に売られた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。